◆計算機アーキテクチャ（ARC）研究会

［主査：五島 正裕，幹事：小野 貴継・津邑 公暁・三輪 忍・山下 浩一郎］

# 定例の研究会活動報告

第202～206回の研究発表会を開催した．

* 第202回 2014/5/14（水）～ 15（木） ＠沖縄船員会館（OSとの共催）

発表18件．ARCの貢献を大きくすることが課題である．ARC若手奨励賞1件．

* 第203回 2014/7/28（月） ＠朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター（SWoPP）

発表15件．多くの発表をIEICE CPSYに奪われた形となった．ARC若手奨励賞1件．

* 第204回 2014/10/06（月）～ 07（火）＠ ホテルニューツルタ （大分県別府市）

発表20件．「ポスターのないポスターセッション」を開催し，多数の発表があり，活発な意見交換が行われた．また，3件の招待講演を催した．ARC若手奨励賞1件．

* 第205回 2014/12/09（火）～ 10（水） ＠小樽経済センターホール（HOKKE，HPCとの共催）

発表32件．HOKKEもARCの貢献を大きくすることが課題である．ARC若手奨励賞1件．

* 第206回 2015/01/29（木）～ 30（金） ＠慶応大学（IEICE-ICDと連催）

発表10件．集積回路研究者とのコミュニケーションを活性化する目的で，3件の招待講演を催した．

# シンポジウム・国際会議等の報告

Annual Meeting on Advanced Computing System and Infrastructure (ACSI) 2015を，2015/01/26（月）～28（水）の日程で，つくば国際会議場において，OS/HPC/PROとの共催で開催した．

# 総括

主に国内の環境の変化が激しく，ARCとしても変化を迫られている．

まず，新年度からは，研究会名称を計算機アーキテクチャ研究会からシステム・アーキテクチャ研究会へと変更する．

また，長年競合関係にあったIEICE CPSYとの連携を強化することで合意した．新年度からは，できる限り多くの研究会を連催する予定であり，CPSY主催シンポジウムへの協賛も決定した．ゆくゆくは，実際上一体として運営されることを目指す．

HPC，OS，PROなど，情報処理学会のシステム分野の研究会とは，上記SWoPPをはじめとして連携を続けていく．また，IEICE ICDとはLSIとシステムのワークショップの共催，アクセラレーション技術発表討論会の協賛，1月の研究会の連催などを通じて異分野交流の機会を提供した．

引き続き登録会員が必要とする研究発表の場を提供すべく，関連する研究会と密な連携を保ちつつ，さらに活動を盛り上げていく予定である．

# その他

* Webサイトをリニューアルし，運用を開始した．
* IEICE CPSYとは，連携強化のためのロゴを作成した．